ジェンダーレスを考えたパッケージとは
～性別にとらわれずなりたい自分へ～

福井県立武生高等学校

○動機

越前市パートナーシップ制度が導入

↓

ジェンダーについて調査すると、SDGsの17の目標のうち5番が「ジェンダー平等を実現しよう」であった

↓

性別によって商品の取りやすさが違うのは、商品のパッケージが大いに関係？？

○目的

性別にかかわらず、誰もが手にとりやすいパッケージを考える。

○方法

・論文の調査
「色彩と感情について」稲浪正充、栗山智子、安部美恵子
島根大学教育学部紀要（人文・社会科学）
第26巻35頁～50頁　平成6年12月

・ZOOMでのインタビュー
エル・ローズ

・メールでの質問
ヘルメス

・フォントのアンケート調査
⇒武生高校生119名。アンケートに用いたフォント
游ゴシック体、うつくし明朝、Rounded Mgen＋、
やさしさゴシック、源ノ明朝、コーポレートロゴ

・インターネットでのジェンダーレス商品の調査
⇒評価・分析（良い点・悪い点）
⇒パッケージの一例をだす

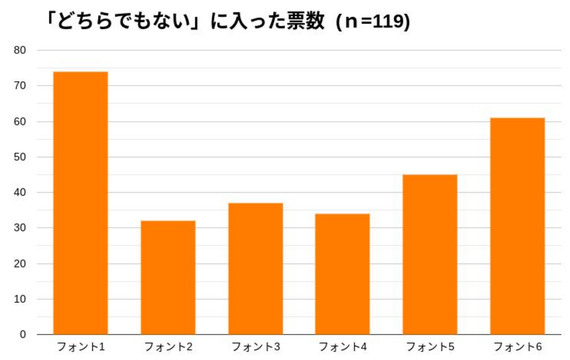
○結果

〈論文〉
紫色、黄緑色は中性的な色のイメージがあり、
赤色や青色はやはり性別の区別がある。

〈メールでの質問〉
・パッケージの色やフォントには商品ターゲットの世代に合わせた物を採用する。
⇨商品のフォントは性別ごとに決められているわけではない。
⇨しかしフォントが商品を手に取る人に与える影響は大きいのではないか。
・ジェンダーレスの商品を作るとなった場合には女性・男性どちらにもよらないニュートラルな色を使う。
⇨ニュートラルカラーとは黒・白・グレーなどの無彩色を一般的には指すが、アパレルなどではカーキやベージュも含む。
(ウェブサイト：TEXTLINENETより)

〈ZOOMでのインタビュー〉
パッケージには乳白色を使っていて、男性らしい、女性らしいの中間のものにするよりどちらとも取れるものを心がけて作った。

〈フォントのアンケート調査〉



武生高校生119名
女性85名
男性31名
無回答3名

【フォント１】 TAKEFU High School
武生高校　あいうえおカキクケコ

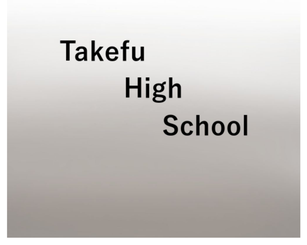
【フォント６】 TAKEFU High School
武生高校　あいうえおカキクケコ

〈既存の商品を分析〉

・３色でシンプル
・無彩色がいきている

・様々な色で惹きつけられる
・文字に大小があって良い

〈制作したパッケージ案〉



・性別の偏りが最も少ない遊ゴシック体を使った。
・無彩色を用いたグラデーションにした。

・アンケート候補のなかで丸みがあるフォント６を利用した。
・あえてたくさんの色を使うことで偏りをなくした。

○今後の展望

実際に商品のパッケージとして店頭においてもらい、どのような結果となるのかを調べてみたい。
※今回の実験では2つの観点でしか調べられなかったため、もっと多くの条件で研究してみる必要がある。